



MandolinEnsemble*Iris

第8回演奏会

COVID-19感染対策まとめ



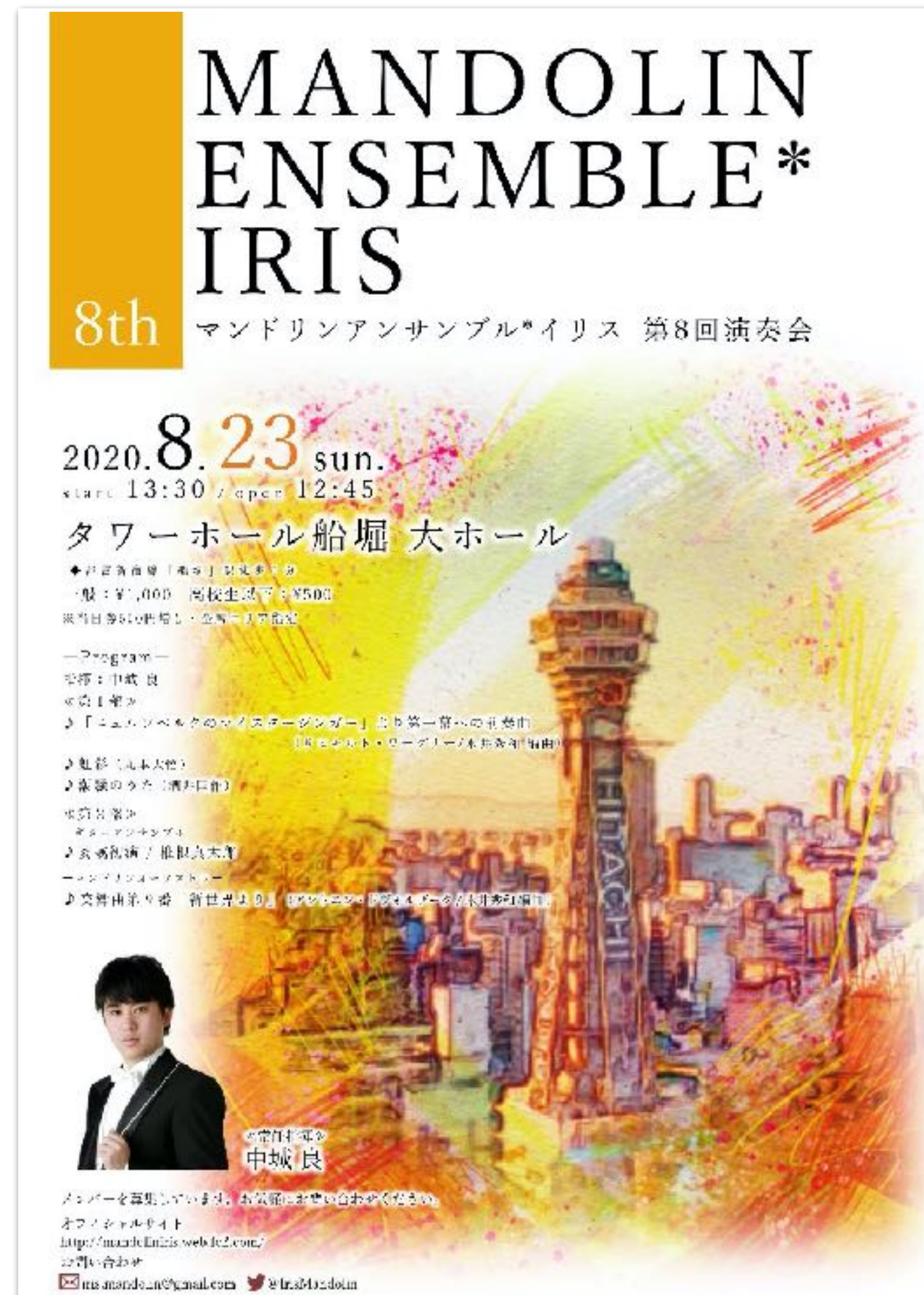
© MandolinEnsemble*Iris 2020/09/22

目次

1	MandolinEnsemble*Iris第8回演奏会について	03
2	対策方針	04
3	公演準備時の対策 (1)練習 (2)その他準備	05
4	公演当日の対策 (1)動線計画 (2)具体的な対策：出演者動線 (3)具体的な対策：観客動線	12
5	まとめ（当団からの提言）	21

1. MandolinEnsemble*Iris 第8回演奏会について

対策のベースとなる基本的な情報は以下の通り。



日時

2020年8月23日（日）

場所

タワーホール船堀

開場時刻

12:45

開演時刻

13:30

終演時刻

16:00

舞台構成

2部構成

休憩時間

20分

オーケストラ編成

マンドリンオーケストラ、管楽器（2本）、打楽器（2名）

出演者数

41人

団員年齢層

20代が中心

練習再開日

2020年6月21日（日）

練習回数

11回

2. 対策方針

具体的な対策は以下の4つのガイドラインを参照して実行しました。

練習



公益社団法人 全国公民館連合会

『公民館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン』

令和2年5月14日（一部改訂令和2年5月25日）

公演



公益社団法人 全国公立文化施設協会

『劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン』

令和2年5月14日（一部改訂令和2年5月25日）

※令和2年9月19日以降の客席の収容率緩和に向け、改定版が令和2年9月18日に公開されています。



クラシック音楽公演運営推進協議会

『クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン』

令和2年6月11日

※令和2年9月19日以降の客席の収容率緩和に向け、改定版が令和2年9月18日に公開されています。



公益財団法人 新国立劇場運営財団

『新国立劇場における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン』

令和2年6月5日

3. 公演準備時の対策



3. 公演準備時の対策

(1)練習 / 各公共施設の状況

最大利用人数が以前の半分以下になり、広い部屋の確保が必要に。

地区	施設	状況	説明
東京都	目黒区 住区センター	音楽利用禁止	窓を開放した状態での利用が原則。そのため、窓の無い地下室や防音室、窓開放で近隣への迷惑となる音楽利用を一切禁止。
	めぐろパーシモンホール練習室	制限付きで利用可	ホールと同等の換気システムを備えているため、密室でも利用が可能。定員の半数までの利用制限あり。
	葛飾区 地区センター・交流館	制限付きで利用可	定員の半分以下で利用可。
	かつしかシンフォニーヒルズ練習室	管楽器利用不可 その他は制限付きで利用可	弦・打楽器は定員の半分以下で利用可。合唱や管楽器は利用不可となっている。
	豊島区 地域文化創造館	制限付きで利用可	定員の半分以下で利用可。ただし密閉性の高い音楽室は利用禁止。利用時に全員の氏名と緊急連絡先を記入する必要あり。
神奈川県	川崎市 市民館	制限付きで利用可	定員の半分以下で利用可。利用時に名簿の提出と利用者による消毒作業を求められる（名簿フォーマットと道具は施設が準備）

3. 公演準備時の対策

(1)練習 / 練習時の具体的な対策

休憩時間を使ってパート練習・交流を図るなど対策を有効活用。

カテゴリ	実施内容	結果
#三密回避	座席間隔を広くとるためにキャパシティの大きい施設を利用	⊕奏者間の距離を最低1m、基本的には1.2m以上を確保できた。 ⊕本番舞台に近い距離感で合奏をすることができた。 ⊖施設に限られるため、競争率とコストが増大した。施設確保が今回の活動の最大のハードルであった。
	昼休みをパートごとに前半後半で分割。パート練習と昼休憩に分けて実施	⊕パート内での交流ができた。 ⊖練習時間がどうしても短くなってしまう。
#換気	30分毎に換気休憩を実施	⊕1 コマあたりの集中力が高まったように感じる。 ⊕1 日トータルでの疲労感が軽減。 ⊖練習時間が短くなってしまう。 ⊖奏者の調子が上がりきったところでリセットされてしまう。
#食事	練習施設での食事禁止	⊕分散のためパートごとに食事に行くことでパート内の交流ができた。 ⊖飲食店に行くため、昼食にかかる時間が長くなった。

3. 公演準備時の対策

(2) その他準備 / チケット

来場者名簿作成・接触回避のため、オンラインチケットの利用を推奨しました。

前提

感染者が発生した場合に備えて、来場者の氏名と緊急連絡先を管理する必要がある。

受付での接触を避け、また混雑しないようにする必要がある。

オンラインチケットサービス



- ・登録料無料。手数料が売り上げの3.24%と非常に安価。
- ・来場者はQRコードを表示し入場。受付側は専用のスマホアプリでスキャンを行えるなど、スムーズな入場が可能。
- ・Yahoo!アカウントを利用して購入が可能。その場合クレジットカード決済か、コンビニ決済か選択できる。（アカウント登録をしなくても、クレジットカードで購入可能。）
- ・アンケート機能を利用して来場者の氏名、緊急連絡先の情報を記載してもらうことができる。

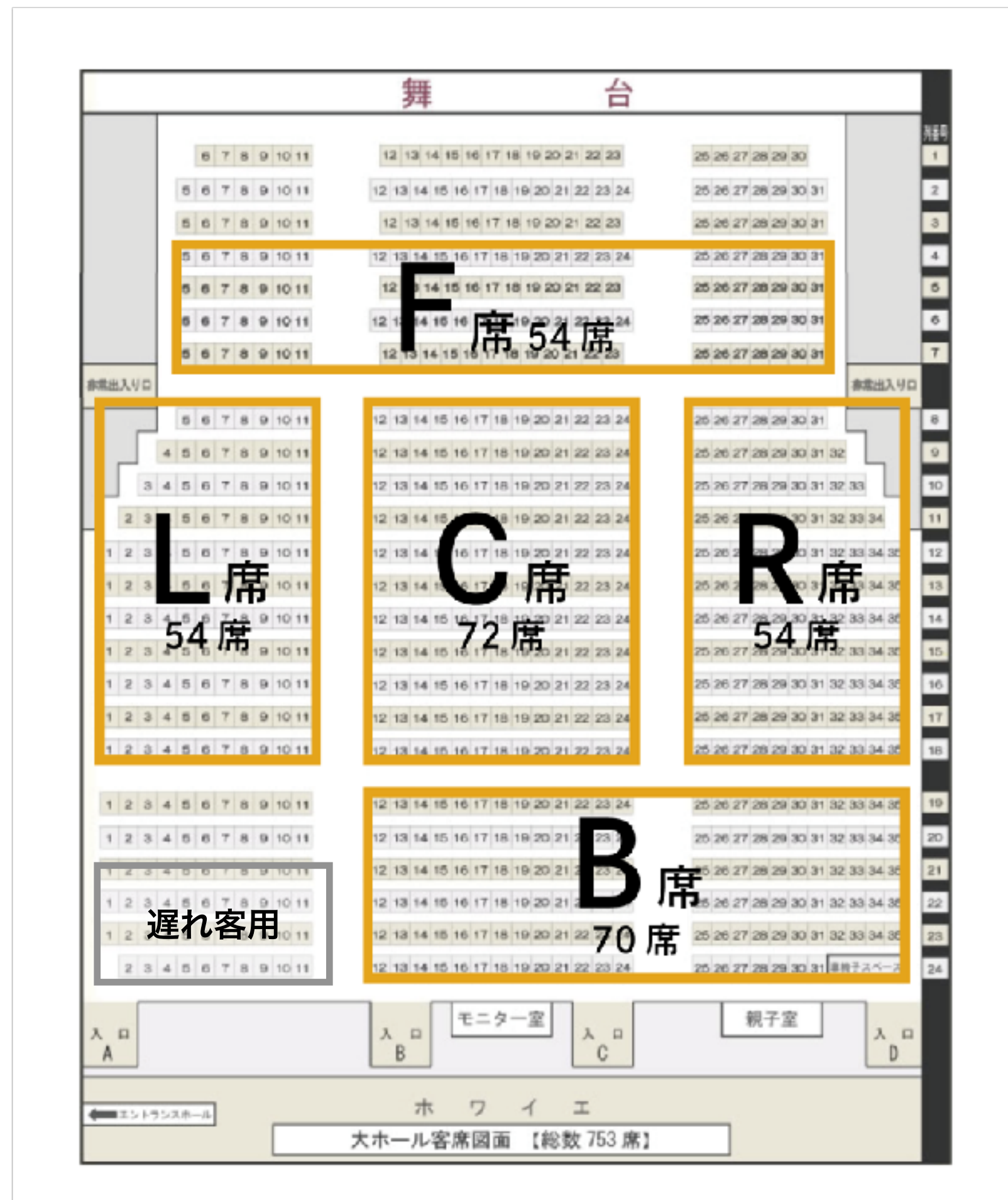
当日券

- ・当日券は前売り券+500円の料金設定とし、なるべく前売り券を購入するように誘導。
- ・購入時、氏名と緊急連絡先を用紙に記入してもらった。

3. 公演準備時の対策

(2) その他準備 / 座席計画

座席数を半分以下に。全席エリア指定席にして密を回避しました。



全席自由席

753 席



全席エリア指定席

337 席

- ・チケット販売時点では「1席ずつ間隔をあけて座る」などホール側のアナウンスがなかったため、団側で場所によって密になったりしないように配慮する必要があった。
- ・全席指定席はコストとオペレーション負荷が高いため却下し、エリア指定席（エリア内は自由席）とした。
- ・エリアを5つに分け、それぞれのチケット数を座席の半分以下に抑えた。
- ・各エリアの混雑具合を事前に把握し、空きの多いエリアと混雑エリアの情報をSNSで発信することができた。

※2020年9月19日時点で、クラシックコンサートの客席の収容率制限は緩和されました。

(2) その他準備 / フライヤー

コロナ対策について効率的に周知するためフライヤーを作成しました。



- ・SNSでのアナウンスのほか、団員が自分の家族や友人に効率的にコロナ対策について伝えるためのツールとしても利用できた。
- ・『劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン』をもとに作成していることをアナウンス。
- ・公演前、公演中、公演後の3つの時間軸で、お客様に特にアナウンスしておきたいことを簡潔に説明。対策を行なっているという安心感を与えることができた。

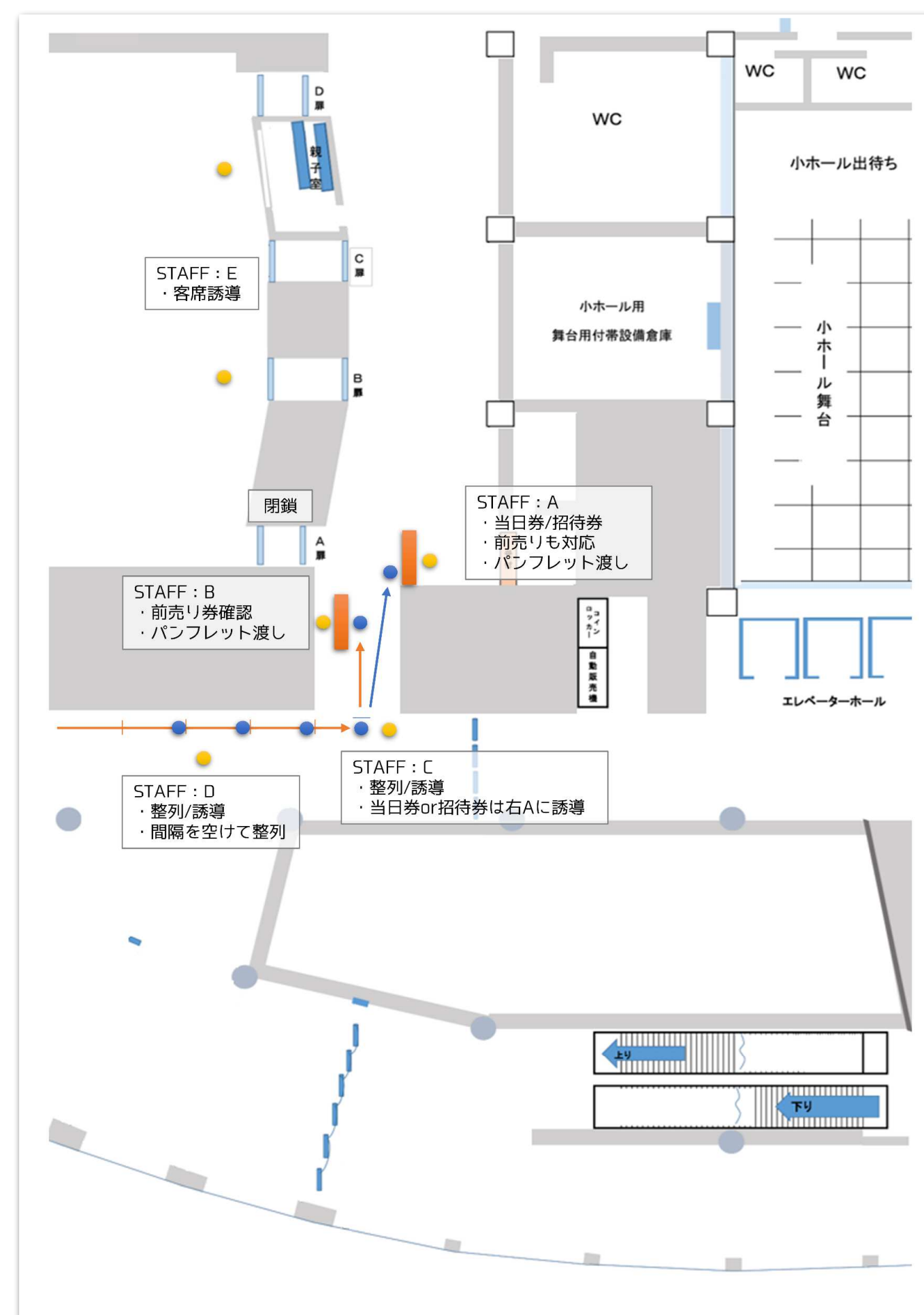
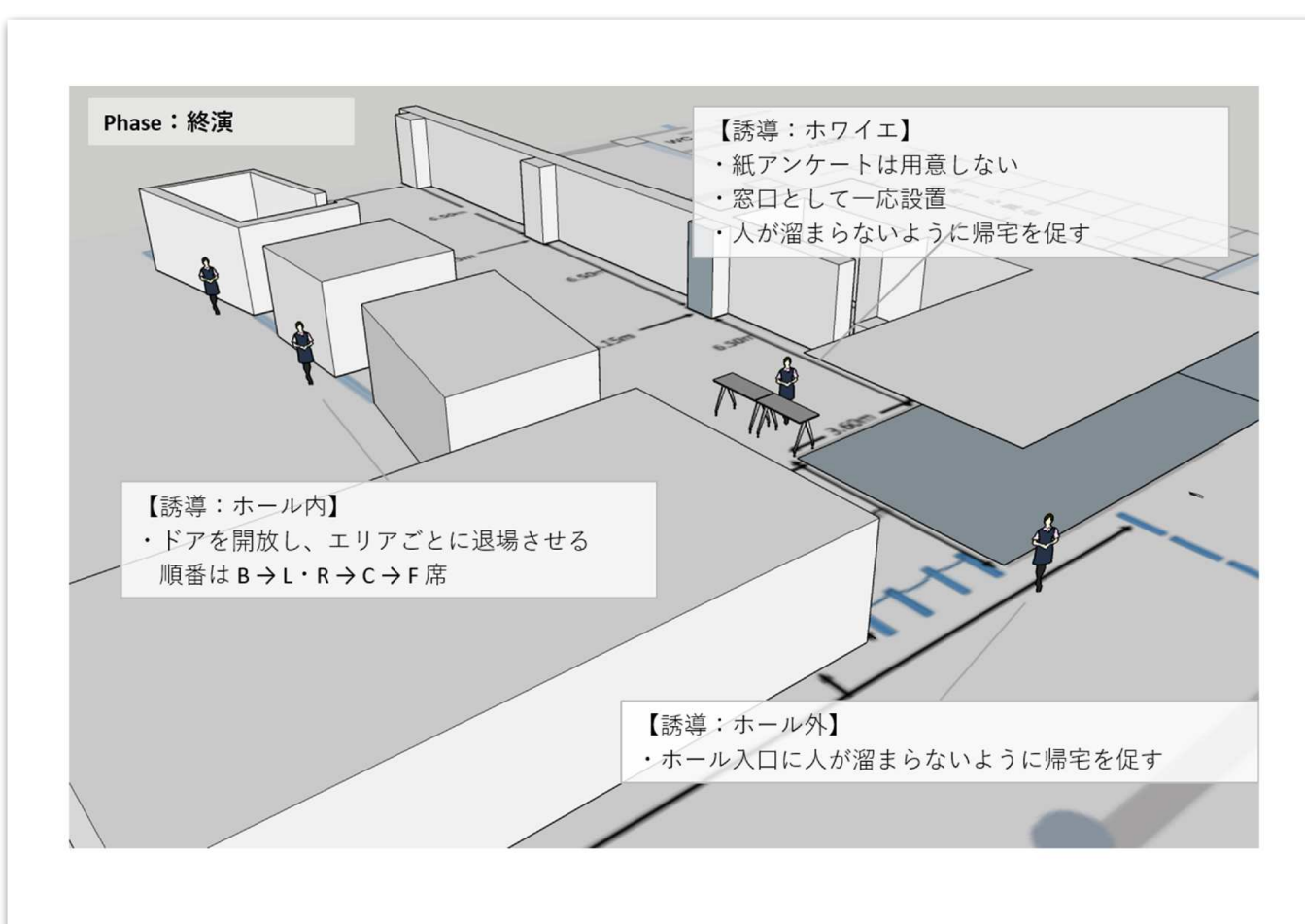
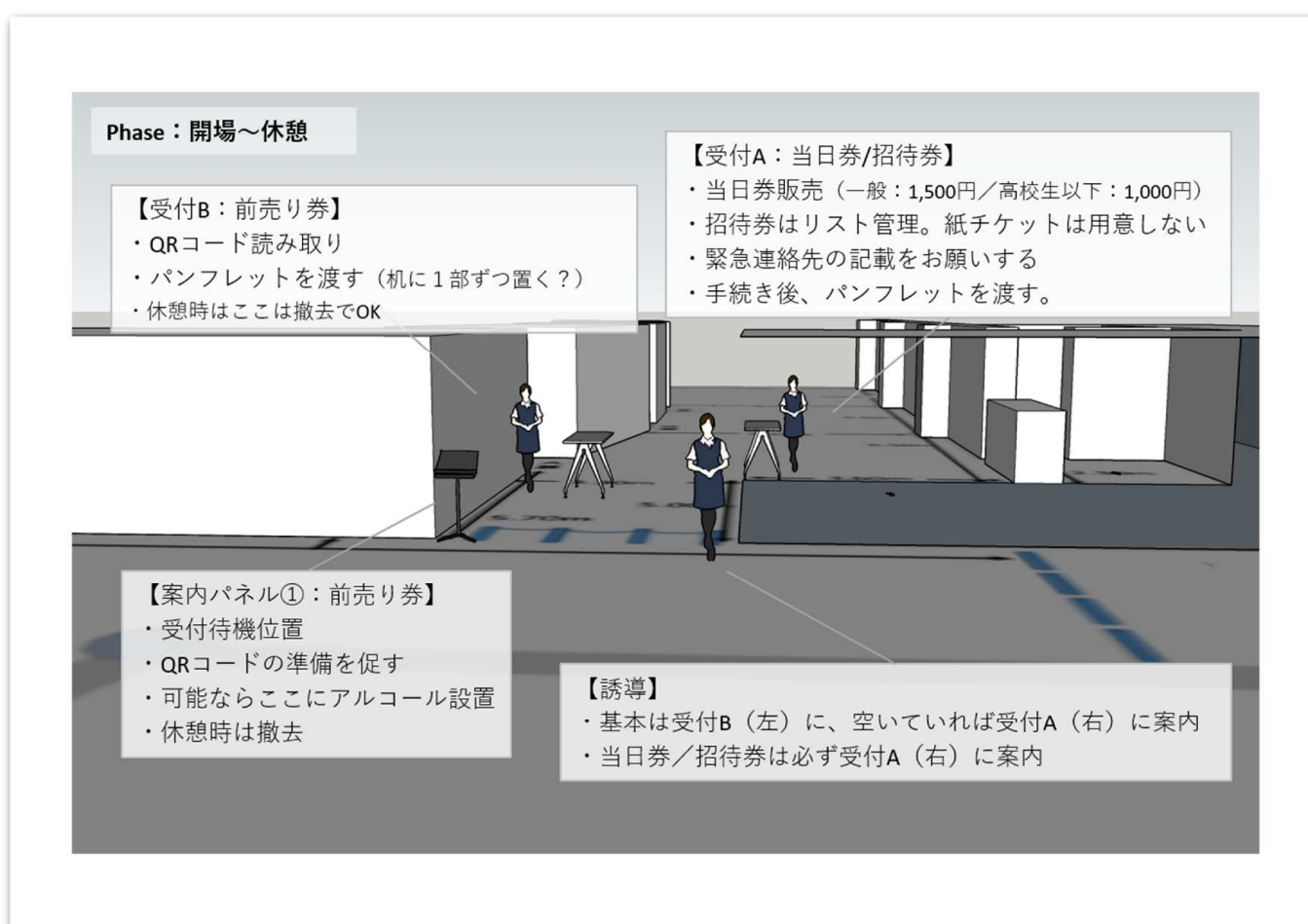


- Instagramでの発信がしやすいように正方形ver.も作成。

3. 公演準備時の対策

(2) その他準備 / 受付スタッフの役割分担

3Dモデリングソフトを用いて、受付やスタッフの配置を検討しました。



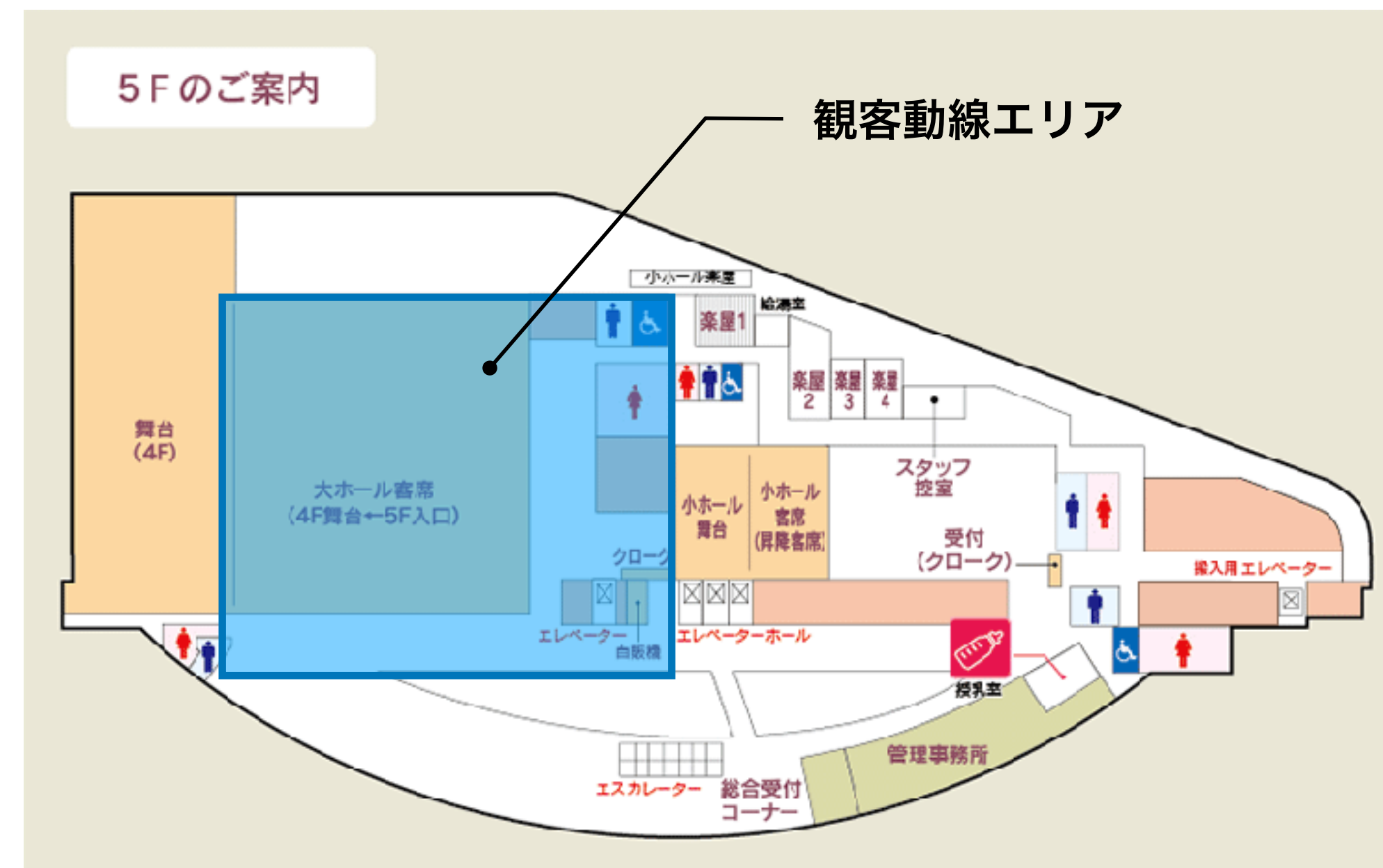
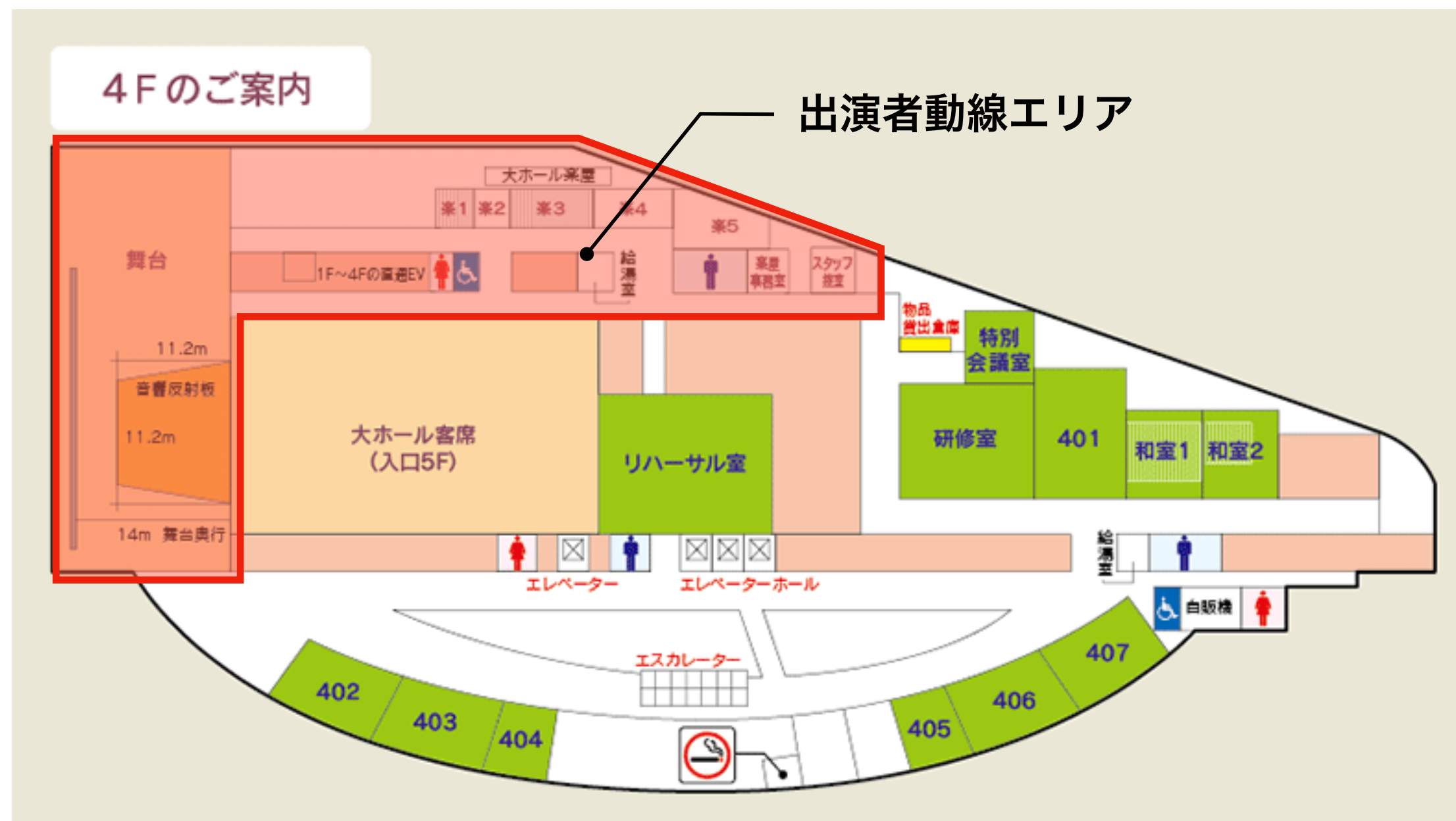
- ・感染対策を実施しつつ受付を行うためには、何人くらいのスタッフを用意しなくてはいけないのか検討した。
- ・SketchUp (3Dモデリングソフト) を用いることで配置や動きがより明確にイメージできるので、オンラインミーティング下でも認識齟齬を起こすことなく打ち合わせすることができた。

4. 公演当日の対策



(1) 動線計画

出演者と観客の動線が交わらないように計画しました。

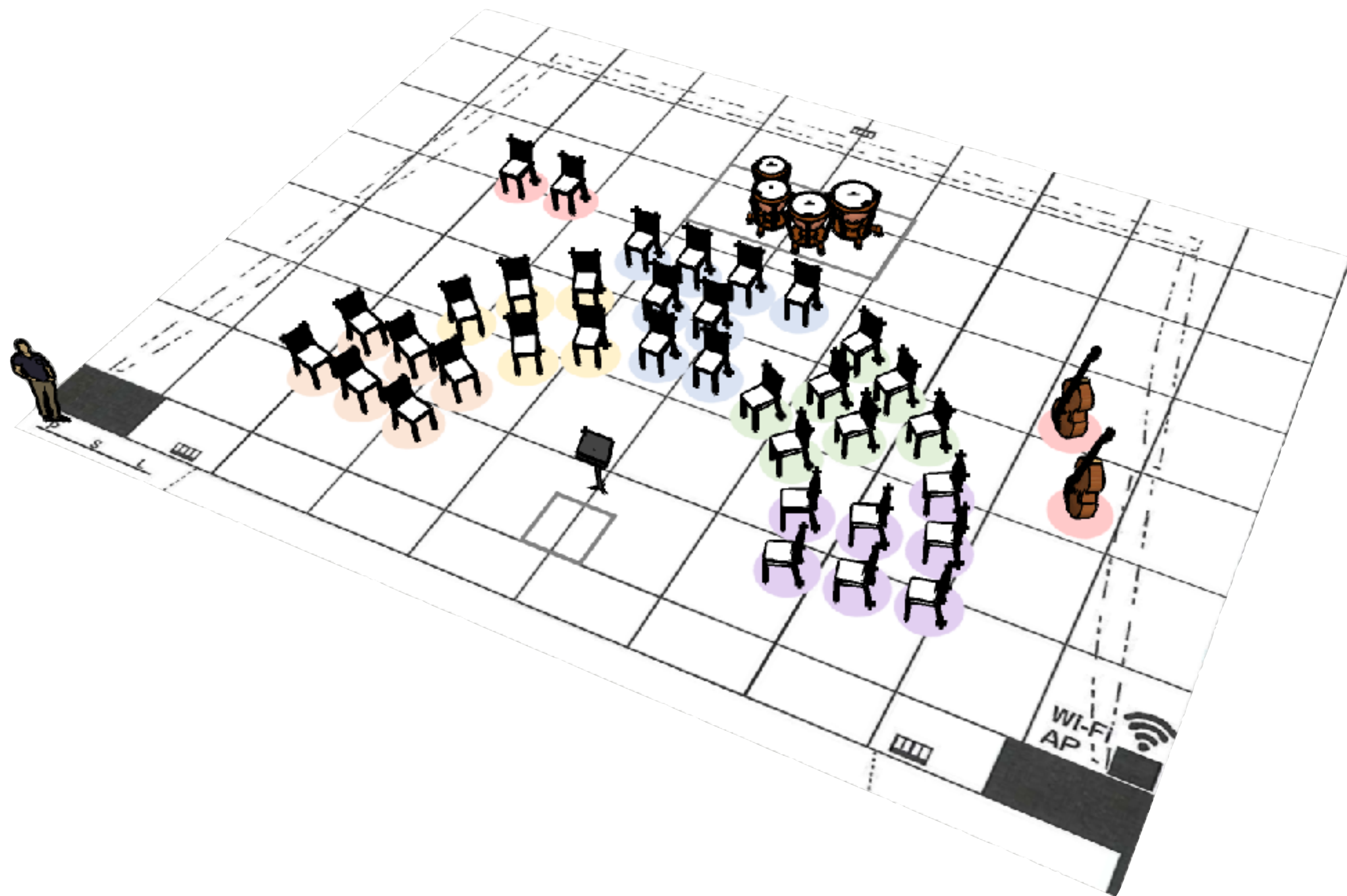


- ・ 出演者は客席やホワイエ・受付等に立ち入らないように制限。
- ・ 受付のスタッフを出演者とは別に手配し、出演者が入場時に受付の応援を行わないようにした。
- ・ 終演後、ホワイエでの面会を取りやめた。

4. 公演当日の対策

(2) 出演者動線 / オーケストラ配置

椅子の中心と中心の距離が1.3mになるように配置しました。



以下の3点のバランスを考慮し、最終的に椅子の中心同士の距離が1.3mになるようにオーケストラを配置した。

1. **舞台の大きさ**：舞台全体のサイズから管楽器と打楽器のスペースを差し引いて、弦楽器の配置の最大サイズを求めた。
2. **奏者と奏者の距離**：椅子の中心から円を描き、円同士がかぶらないようにした。
3. **奏者と指揮者の距離**：奏者の円が大きくなるほど、奏者と指揮者の距離も離れていってしまう。練習時に実際に座席を置いて最適な距離の検証を行った。

▷ 「十分な距離を確保できたこと」「本番中は発声をしないこと」「口元が見えた方が指揮者とのコミュニケーションが取りやすい」といった点を考慮し、本番中のみマスクを外して演奏した。

4. 公演当日の対策

(2)出演者動線 / リハーサルスケジュール

館内で飲食ができないため40分間の昼休憩を確保したが、慌ただしいランチタイムに。

9:30までに集合

昼休憩

時刻目標		概要	備考	スタッフ
8:50	10	設営担当者集合		
9:00	30	反響版設置	40分必要	
		・受付設営		
		・客席設営(エリア案内など)		
9:30	20	奏者／賛助集合	舞台設営	
9:50	30	1部リハ①		
		・虹彩		
		・潮騒のうた		
10:20	10	休憩		
10:30	30	1部リハ②		
		・マイスタージンガー	吊りマイク録音	
11:00	15	休憩	マイクチェック	受付スタッフ集合 打合せ・スタンバイ 開場 予ベル後:ドアClose 1名舞台上手ドアに移動
11:15	50	2部リハ①		
		・新世界より		
12:05	20	2部リハ②		
		・ギター		
12:45	40	開場		
13:25	5	予ベル		
		・影アナ①		
		・奏者舞台袖集合開始	録音開始	

- 密を避けるため、設営担当者以外は9:00から9:30までの間に到着するようにした（全員8:50集合は廃止）。
- ギターアンサンブル出演者以外は、開場までの40分間を昼休憩とした。
- 館内で飲食ができないため周辺の飲食店で食事をしたが、座席の確保に時間を要するなどしてかなり慌ただしい昼休憩となってしまった。スピーディーに昼食を取る方法をあらかじめ検討しておくべき。

4. 公演当日の対策

(3) 観客動線 / 具体的な対策一覧 (受付)

非接触で受付ができ、滞留時間が短くなるように配慮しました。

カテゴリ	実施内容	結果
#受付 #三密回避	前後1.5mの間隔を取るようにフットマークを作成し、ガイドポールで動線を整理した	⊕きちんと間隔を取った列が作れ、受付をスムーズに行うことができた。 ⊖設置に想定以上の時間がかかった。設置担当者内で役割分担を決めておくなど事前の打ち合わせが必須。
#受付 #ホワイエ #消毒・検温	入口にて非接触型検温器による体温測定と手指のアルコール消毒を実施してから、受付にご案内した ドア、手すりなど多くのお客様が触れる箇所のこまめなアルコール消毒を実施	⊕「対策がされている」こと、そして「発熱者は入場していない」ということが来場者同士の安心につながったように思う。（WebアンケートおよびSNSの反応より）
#受付 #非接触対応	除菌済みのペンと使用済みのペンを区別した	⊕使用済みペンとの混同を防ぐことができた。 ⊖容器や除菌グッズなどの準備が必要。
	差し入れを不可とした	⊕宛名書きなどの窓口業務がなくなりスタッフを誘導員に回すことが出来た ⊕花束受付は時間のかかる窓口で混雑の原因のひとつであった。それが解消されることで受付の混雑解消につながった ⊖周知が徹底されておらず、持ってきてしまうお客様がいた。SNS上での発信だけでなく、団員からお客様への周知を徹底すべきだった。

4. 公演当日の対策

(3)観客動線 / 具体的な対策一覧（ホワイエ・客席）

開場時から終演後まで、全ての時間で混雑が発生しないように配慮しました。

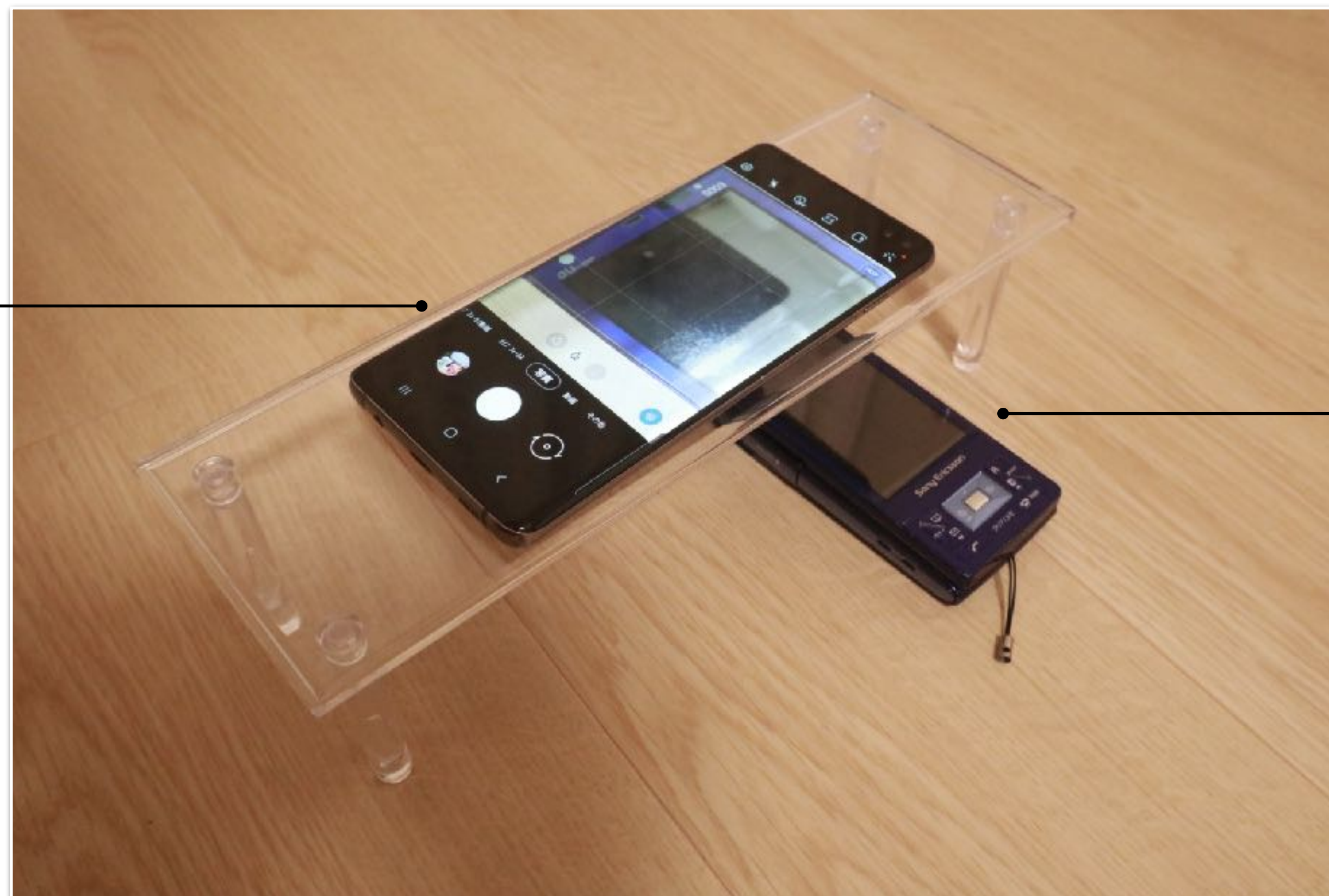
カテゴリ	実施内容	結果
#ホワイエ #非接触対応	係員の飛沫対策の為、案内掲示を多く作成し細かく掲示をした	⊕大きな受付トラブルもなく、係員への問い合わせも少なかった。 ⊖作成コスト（時間・費用）がかかった。 ⊖印刷コストを下げるためにモノクロで作成したいが、視覚情報の観点からカラーにすべき要素も多い。その線引きとデザイン作成が難しかった。
	開場時間を30分→45分、休憩時間を15分→20分と例年より長く設定した	⊕休憩時のトイレの混雑を防ぐことができ、出演者側の余裕もできた。 ⊖演奏会の総時間が長くなり、撤収の時間がひっ迫した。
	逆走を禁止するために、開場および休憩中は客席ドアごとに「入口専用」「出口専用」の一方通行とした。	⊕対面を避けることができ、また混雑を避けることが出来た。 ⊖掲示を見ずに通り抜けてしまう人もいたため、アナウンス等でしっかり周知すべきだった。
#ホワイエ #三密回避	終演後の面会を禁止した	⊕ホワイエの撤収作業が非常にスムーズに行えた。 ⊖面会できないのは寂しい、という声がアンケートに寄せられた（そのため下記退場対策が嬉しかったとの声）。
	エリアごとの時差退場を実施。待ち時間が長くなる座席のお客様のために見送り演奏（新喜劇のテーマ）を行った。	⊕混雑が緩和され、安全に退場いただくことができた。 ⊕SNSやWebアンケートで好意的な意見を多くいただいた。 ⊕特に見送り演奏が企画として好評であった。
#客席 #三密回避		

4. 公演当日の対策

(3) 観客動線 / チケットの読み取り

スキャン台を用意し、スムーズに非接触でチケットを読み取れるようにしました。

受付スタッフのスマートフォン。
事前に専用アプリをインストール
し、お客様のQRコードをスキャン
する。



お客様のスマートフォン。
チケットのQRコードを表示して、
スキャン台の下に置く。

4. 公演当日の対策

(3) 観客動線 / 時差退場の実施

待ち時間が長くなる座席のお客様のために見送り演奏を行いました。

Somebody Stole My Gal Leo Wood
Mandolin I 吉本新喜劇のテーマ Transcription by S.N.

Swing ♩ = ♩
Allegro vivace ♩ = 108

f

5 *mf*

9

13 **Repeat**

17 1.~X Time *f*

21 Ending *mf* *f*

- ・退場時の混雑を防ぐために、エリアごとの時差退場を実施。後方の座席より順番にご退場いただいた。
- ・以下の事由を考慮し、お見送り演奏と指揮者によるMCを行うことを決定。
 - ✓ 前方の席のお客様の待ち時間が長くなってしまうこと。
 - ✓ 時差退場時、アナウンスが必要になること。
 - ✓ 面会禁止により出演者よりお客様に挨拶ができないため、感謝の気持ちを伝える何かしらのサプライズを用意したかったこと。
- ・お見送り曲として「吉本新喜劇のテーマ」を用意。お客様が退場されるまで演奏を繰り返し続けた。

5. まとめ（当団からの提言）

コロナ禍での演奏会開催に向けて気をつけるべきことをまとめました。

#全体（演奏会開催に向けて）

コスト増・収入減を踏まえた計画立案を。

感染対策グッズの購入に加え、キャパの大きな練習施設・ホールの利用と、開催コストは大幅に増加します。さらには出演を躊躇う団員や来場客の減少で収入が減り「コスト増・収入減」という状況になりかねません。客席数を絞るからこそ、有料コンサート化（あるいは増額）なども検討すべきです。その際、具体的な対策を提示し理解を得ることで、有料化（増額）へのマイナスイメージを与えず、チケットの価値を高めることは可能だと思います。

#公演準備時（練習）

余裕を持った広さの施設を利用する。

奏者間の十分な距離を確保しようと思えば、半数指定された定員ぴったりのキャパの部屋ではまだ狭いです。さらに余裕を持った広さの施設を利用しましょう。

#公演準備時（練習）

休憩時の感染リスクに注意。

イリスでは練習そのものよりも、会話・飲食などの発生する休憩時間の方が感染リスクが高いと考えていました。そのため、毎回の昼食はパートごとに分散して飲食店で食べるようにし、練習場所では食事しないようにしました。また、換気のために練習中の休憩時間も増えます。30分ごとの休憩を軸にした練習計画を立てるなど準備が必要です。

#公演準備時（その他準備）

レイアウトや実施する対策の詳細などは事前に図面などで共有し、担当者を明確に。

例年になく作業＆単純な作業量が通常よりも増えます。情報を共有し、担当者を明確に決めて各人が指示を待たずに作業に取り掛かれるようにすべきです。

#公演準備時（その他準備）

必ず事前のホール打ち合わせで受付備品の確認を。

受付、ホワイエの設営はホールの備品数によってどこまで対応できるか決まります。必ず事前のホール打ち合わせで受付備品の有無を確認しましょう。

※使用備品例：L字クリップ掲示スタンド、ガイドポール（ベルトパーティション）、休憩時にお客様が使用できる椅子、受付用テーブル、アルコール消毒スプレー、非接触型検温器

#公演当日（出演者動線）

楽屋での過ごし方にも要注意。

本番当日は会話が発生する楽屋が一番リスクが高いと考えていました。使用人数を規定より減らし、楽屋内での会話と食事を控える為、ゆっくり休憩は出来ません。大人数での公演であれば、楽屋以外にも休憩スペースを確保しておくべきです。難しければ、対面を考慮した楽屋の座席配置を作るのが良いでしょう。